

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第6回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年3月7日(金)14:00～15:10

2 場 所 多目的室

3 あいさつ

《委員長》

・本日は学校関係者評価について議題が中心となるのでご意見を頂戴したい。

《校 長》

・今日は避難訓練があった。いつ起こるかわからないことを想定して児童には日時を伝えずに実施したが、前回よりも短い時間で移動・集合できた。本当にあった時は自分で自分の身を守るように行動できるようにしていかなければならない。

4 協議事項

(1)学校自己評価・学校関係者評価について(別紙)

ア 協議内容(○:委員の発言 ●:回答等)

○	ICT 活用という点で漢字を書くアプリはかなり正確でないと、なかなか正解が出ないので難しさを感じる。
●	漢字についてはこれまで取り組んできた漢字ドリルを使った指書きや反復練習効果があるので、継続した指導を大切にしていきたい。
○	毎日 Chromebook を持ち帰ることですごい重さで、大人が持っても大変だと思う。置いていける教材を減らす等、何とかならないものか。
●	教科書が以前よりもサイズが大きくなりかなり重くなっている現状、毎日持ち帰らなくてもよい教科書やノート等については、学校に置いて帰ることも吟味して考えていきたい。
○	不登校児童への偏見はないか。
●	多様性のある児童に対する理解力がある児童が多く、偏見は感じない。
○	ほっとルームではどのようなことがされているのか。
	基本的には学級で行われている授業を念頭に意識するために、各自の学級の時間割がホワイトボード黒板に書かれている。それを意識しながら実際に授業参加したりオンラインで参観したり、自分に合った段階の算数や国語の課題をやっていたりする。学校に登校することが最優先なので、読書やクロームブックをして過ごすこともある。ほっとルームについては学校だより等でも発信していけるか検討していきたい。
○	不登校の家族は困っていると思うので、そのような家庭へ不安をなくすように取り組んでいってほしい。また、長期化することもあると思うがいろんな道があるので、長い目で見えていけるような教育をしていただきたい。

○	牧田万博は、以前は地域の方も参観できていたが、今後について学校としての方向性は決まっているのか。
●	コロナ禍前に実施していたものがコロナ後でそのまま継続できるものについては実施しそうでないものについては縮小してきた。地域に発信となると学習にかける時間がどうしても多くなり、児童にとっても負担になる。牧田万博での取組については通信等でも発信しているが、授業参観で取り組んだことを発信している学年もあるので、授業参観の回数を減らすのであれば保護者参観も可能だし、地域については4年生が発表している前川定五郎の顕彰会の方には見ていただいてもいいと思う。その点について職員とも検討していきたい。
○	給食試食会は可能だと思われるがどうか。
●	給食試食会については実施している学校も多い。可能であると思われるので検討していきたい。
○	6年生を送る会は参観できないものか。コロナ禍で高学年は参観の機会も限られていた。せめて6年生だけでも参観できるとありがたい。また、音楽会の際にリモート(鈴鹿市教育委員会)があったが、とてもよかったので、6年生を送る会や牧田万博などもリモートのような形で参観できないものか。
●	6年生を送る会の6年生保護者のみの参観はしている学校もある。4年生は音楽会の発表をミニ参観という形で4年生保護者対象に実施した。次年度は定五郎顕彰会の方も一緒に参観いただけるように検討していきたい。6年生を送る会についても、事前練習をミニ参観していただくなど、可能な限り検討していきたい。
○	朝、子どもたちと一緒に登校していても、下を向いて歩いたり、わざと後ろで歩いて遅れていたりする子がいることが気になる。
●	ボランティアさんからの声掛けがありがたい。学校で認められたという実感があると子どもたちも生き生きとしてくる。音読、九九ボランティア等の場でも、声かけ一つで元気で、うれしそうな様子の子どもたちが多いので大切にしていきたい。
○	発達に課題がある児童には支援員がついてほしい。
●	人員が足りないのが難しいが教育委員会には要望していきたい。
○	ボランティアの仕事を理解してくれていないと感じることもある。ボランティアよりも保護者の方が多数を占めているのだから、少しでも協力してもらえるようにとPTAと連携できるとよい。
○	ボランティアの声掛けだけでもありがたい。可能であれば市が有償ボランティアやお茶を出す等の配慮もしてほしい。
●	ボランティアさんへの声掛けや感謝の気持ちを伝えることは大切なことであるので、積極的に働きかけていきたい。
○	教職員が早く家に帰れるようにするのは、難しい課題である。遅くまで電気がついていて十分やってもらっていると思う。

●	教職員もどういう働き方だとほどよいのかとというのが分からなくなっている状態である。何十年も前から働いている教職員にとってはボランティアの方がいるというだけでもありがたいが、若い教職員はそれが当たり前になって働いている。半面、課題を抱える児童や保護者対応等にかかる時間は年々多くなってきている。
---	--

(2) 最近の学校の様子について

- ・6年生を送る会 学校だより参照
- ・今日は創徳中学校の出前授業(中学校の学校生活について)も行われている。

5 連絡事項

- ・来年度の委員について
- ・コミュニティ・スクール 学校支援ボランティア実践報告集原稿
- ・令和7年度主な行事予定
 - 4/8(火)始業式 4/9(水)入学式 4/10(木)給食開始
 - 4/17(木)全国学調(質問紙は4/18(金))
 - 4月28日(月)キッズウィーク(臨時休業日)
 - 5/24(土)運動会
 - 6/17(火)交通安全教室(1・3年) 6/19(木)20(金)宿泊学習(5年)
 - 11月6(木)7日(金)修学旅行(6年)